

地震への備えを再確認しよう

食品
備蓄

【組み合わせ7日分】を目指して

量、日持ち、栄養バランスを考えて、飽きずに美味しく食べる工夫をしよう！

7日分の組み合わせのしかた例

主食	必須!!	エネルギーと炭水化物の確保
● 米700g(9食分)		
● レトルトご飯 7パック		
● パン 1個		
● 乾麺 200g(2食分)		
● カップ麺 1個		
● シリアル50g(1食分)		米は1食 75gが目安
	計21食分	

主菜	必須!!	たんぱく質の確保
● 魚の缶詰 6缶		
● 肉の缶詰 4缶		
● 豆の缶詰 1缶		
● レトルトカレー 7パック		
● 豆腐 2パック		
● 牛乳 1杯分		
	計21食分	

おとな 1人分 21食 1人につき 飲料水 21ℓ

日常食品の活用ポイント

少しずつ購入 コンロ等の準備



これは例です。
ご家庭の実情に
あわせて創意工夫してみましょう！

1人1週間あたり、
カセットボンベ約6本の
備蓄が必要と
されています。

7日分の組み合わせ例です。備蓄は10日分を推奨します！

●出典：農林水産省『緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド』、静岡県危機管理部『災害時の備蓄は『食べ慣れた食品』も活用しよう！』(H29.11)、しづおか県民だより令和7年3月号臨時増刊

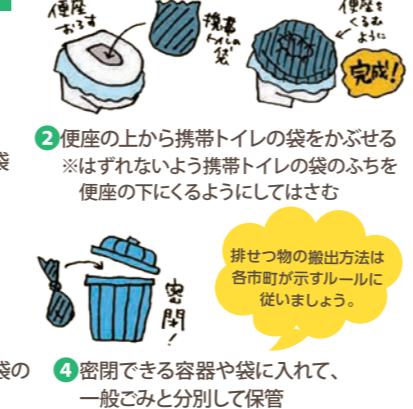
携帯
トイレ

【1日5回×7日分】をめやすく

忘れてない？ 備蓄しよう！

1人に
つき 35個

携帯トイレの使い方



家庭で
備えるなら
コレ！



め
やす
は

1人1日
5回分

×

(1週間)
7日分

×

家族の
人数分

5×7×5=175コ！

●写真提供：特定非営利活動法人日本トイレ研究所、富士市 ●出典：静岡県危機管理部『そうだ！「携帯トイレ」も備蓄しよう！』(H30.10)

防災について学ぼう！

静岡県地震防災センター

入場無料 事前予約制

●起震装置で地震を感じ、建物の耐震化や家具の固定など、地震から身を守る備えの大切さを学ぼう！

●必要な備品の確認や段ボールベッドなどを利用した避難生活を体験してみよう！



静岡県地震防災センター 検索

緊急時、災害時の安否確認方法を知っておこう！

災害用伝言ダイヤル(171)

被災地から「171」に電話をかけることで、音声による伝言を録音できるシステム
全国どこからでも再生して聞くことができる

伝言の録音方法

171
ガイダンスが流れます
1
自分の電話番号

伝言の再生方法

171
ガイダンスが流れます
2
安否を確認したい人の電話番号

災害用伝言板(Web171)

インターネットを通じて文字情報を登録・確認できるサービス

被災地の人々と
離れた場所にいる
家族や知人との間で、
安否確認を行うための
NTTのサービスです。

毎月1日と15日に体験利用を実施中

※連絡を取り合う相手には、災害時にこれらのサービスを利用することあらかじめ
伝えておきましょう。

こながい 小長井よしお 県議会報告



共に創るふじのくに

東日本大震災に伴う福島第一原発事故から14年が経過した今なお、約2万8千人の避難者がいる現実が続いている。復興を伝える報道が増加する一方、その内容と被災地の現実との間に隔たりを感じる声も少なくありません。

静岡新聞は、福島沿岸部から静岡県に避難した高校2年生の男子生徒に焦点を当てています。彼は故郷を訪れた際、放射性物質の廃棄袋が山積し、夜には街の明かり

が消える光景を目にし、報道される復興の姿に疑念を抱きながら、同世代や震災を知らない若い世代へ、復興への思いを伝え続ける決意を語っています。

震災後、多くの人々がふるさとを離れる原因となったのは原発事故による放射能問題でした。震災と原発事故の記憶と教訓を未来へと継承するために、南海トラフ地震の危険性が高まる静岡においては、個人や地域が防災の取り組みを一層強化する必要があります。

窓口名称	開設時間	対象者	内容
静岡こども救急電話相談 #8000	24時間365日	おおむね 15歳未満	専門の相談員(看護師または医師)によるアドバイスを受けることができます ・けがや病気の緊急度、対応方法 ・受診できる医療機関の案内 ・救急車の利用の案内 ・その他の相談窓口の紹介
救急安心電話相談窓口 #7119	平 日:18時～翌8時 土 曜日:13時～翌8時 日曜・祝日: 8時～翌8時 4月から24時間365日(予定)	おおむね 15歳以上	ダイヤル回線、IP電話、熱海市泉・裾野市茶畠の一部地域からは 054-247-9910
県警ふれあい相談室 #9110	24時間		事件事故や犯罪被害についての相談 ダイヤル回線、一部のIP電話、ひかり電話の方は 054-254-9110
静岡県性暴力被害者支援センターSORA(そら) #8891	24時間		性暴力や性犯罪被害の相談 身体的・心理的ケアや法律相談などの支援 ダイヤル回線、ひかり電話の方は 0120-8891-77 上記番号が繋がらない場合は 054-255-8710
DV電話相談 #8008	9時～20時 祝日・年末年始除く		ダイヤル回線、一部のIP電話、PHS等の方は 054-286-9217 女性の悩み、配偶者等からの暴力の相談、保護、自立支援
道路緊急ダイヤル #9910	24時間		道路の異状等を発見した場合の緊急通報 ・道路の穴ぼこ ・路肩の崩壊などの道路損傷 ・落下物や路面の汚れなど道路の異状 事故情報は、警察(110番)へ連絡してください

困ったときの相談窓口

ふじのくに
こながい
小長井よしお

〒421-1403 静岡市葵区日向305
TEL/FAX 054-291-2019
<https://konagai-yoshio.org>



令和7年度(2025年)の当初予算について

[一般会計] 1兆3,723億円 対前年度当初比 563億円の増加(+4.3%)

- ・特別会計 9,489億円(+6.6%) (県営住宅事業・清水港等港湾整備等11会計)
- ・企業会計 878億円(+8.9%) (工業用水道事業・県立静岡がんセンター事業等)

“幸福度日本一の静岡県”の実現に向けて

防災・減災と災害対応の強化
激甚化する自然災害への対応の推進

- ・孤立予想集落を防ぐための整備
- ・要配慮者の生活等への支援
- ・住宅耐震診断の延長と
耐震シェルターの設置支援 等

再生可能エネルギー等の
導入促進

- ・脱炭素社会実現のための諸施策
- ・「次世代太陽電池部会」の立ち上げ
- ・水素の利活用促進
- ・中小企業の脱炭素経営への転換 等

公共交通推進体制と
地域交通推進体制の整備

- ・日常生活における公共交通での移動の確保
- ・公共ライドシェアの展開
- ・自動運転の実装への取組み 等

子ども・子育て支援の充実

- ・「子ども・若者の自殺危機対応チーム」の設置
- ・一時保護所の体制強化
- ・小学校1年生に対する支援員の配置 等

医療・福祉人材の確保

- ・介護人材の獲得強化
- ・医学修学研修資金貸与による
医師の確保

外国人の受け入れと
多文化共生社会の構築

- ・スタートアップとの連携
- ・生成AIやドローン等の最新技術の活用
- ・農林水産業、観光産業の体制強化 等

新たな産業活力の創造

- ・スタートアップとの連携
- ・生成AIやドローン等の最新技術の活用
- ・農林水産業、観光産業の体制強化 等

行財政改革を推進します!

今後10年間(令和7~16年)の「中期財政計画」を策定し、健全な財政基盤を構築します。
令和7~10年を「改革強化期間」と位置付け、集中的に行財政改革に取組みます。



1 今後4年間の見直し (令和7~10年度)

歳出

- ・歳出のスリム化
- ・ビルド&スクラップの徹底
- ・補助金の見直し 等

歳入

- ・公舎等の未利用財産の売却
- ・受益者負担の適正化
- ・ネーミングライツの導入 等

2 大規模プロジェクトの 見直し

- ・遠州灘野球場整備
- ・医科大学院大学の設置
等の検討

3 投資的経費の 適正化

- ・計画の見直し・平準化
- ・県有施設の統廃合 等

4 簡素で効率的な業務執行体制の導入拡大

迅速に対応できる
組織へ

子ども関連施策の
司令塔

「企業立地日本一」
を目指します!

農林水産業の
振興を促進

盛土対策の推進に向け
体制強化

- ・知事直轄組織・
経営管理部を再編
- ・企画部・総務部・財務部
を新設

- ・子ども若者政策部長
の新設
- ・子ども若者局を設置

- ・スタートアップ支援
- ・企業誘致体制の強化

- ・農林水産部門の強化
- ・「静岡茶リ・ブランディ
ングプロジェクト」等
お茶関連産業の強化

これからの静岡県の動きと目指す未来!

リニア中央新幹線の主な対話項目の進捗状況

リニア新幹線については、県の地質構造・水資源専門部会と生物多様性専門部会とJR東海との間で、大井川の水資源、南アルプスの自然環境・生物多様性の保全およびトンネル発生土に関する課題の解決について対話を進めています。

全体では28の対話項目があり、令和7年2月時点では、5項目が対話を完了し、19項目が対話中となっています。

南アルプスのトンネル掘削工事の影響の発生は将来にわたり懸念されているのですが、もし影響が発生した場合、原因の立証責任は影響を受ける側にあります。原因の特定には時間と莫大な経費を必要とすると考えられるため、国・県の関与と将来の保証を確約することが必要だと考えます。



次世代エアモビリティ

次世代エアモビリティ
とは、「空飛ぶクルマ」とも
呼ばれる新しい空の移動
手段で、垂直離着陸できる
電動の航空機のことです。



Courtesy of Joby Aviation. (c) Joby Aero, Inc.

令和9年度の商用運航
開始に向けて、本県は先進導入地域を目指し取り組みます。ヘリコプターと比較して整備費用が安く、騒音が小さいなどのメリットがあり、部品の製造や輸送サービスなどさまざまな産業への波及効果が期待され、交通渋滞の緩和や移動時間の短縮もはかられます。

離着陸場の適地選定や航路の検討を進め、部品の受注に向けて技術力を持つ県内企業の参入を推進していきます。

\ RIDE SHARE /



公共ライドシェア

地方・過疎地域の交通手段であるバス事業者が利用者の減少やドライバー不足により撤退を余儀なくされ、輸送力をより小さい車両での運行が進められるようになりました。

一方でタクシー事業者も不足気味のため、ライドシェア(自家用車による有償運送)を解禁し、都市や地方の需要への対応や、これによる地域経済の活性化を目指す動きが出てきました。また、高齢者や障がい者などの移動弱者に対して、重要な交通移動手段を提供することになります。

しづおか アボカド産地化プロジェクト

温暖化による気温の上昇により、静岡県でも栽培可能な作物が増加しております。なかでもアボカドは、世界一栄養価が高い果物としてギネス認定されており、国内需要も急拡大しています。



イメージです

本県では、幼木の栽培実証や、生産技術の確立と、販売需要の創出に取組み、10年後には「日本一のアボカド産地」を目指します。



平和祈念公園

本年は、 戦後80年の節目の年です

今年は、戦後80年という節目の年に当たります。戦争体験者が高齢化するなかで、次世代に戦争の記憶や記録を継承することが難しくなってきました。

このため、若い世代の沖縄追悼式への参列を支援するとともに、戦争体験者が語り継ぐ様子を映像として残し、平和の尊さを次世代に継承していきます。